

課題にみちた今の社会に、新しいアイデアの科学的創造と実践的な人づくりで貢献していく岡山大学

国連の「持続可能な開発目標」をはじめ国内外で「**社会のための科学**」が求められています。実学を重んじる地の、**スーパーグローバル大学(SGU)・研究大学強化促進事業選定機関・かつ革新的医療技術創出拠点**の実施機関を兼ね備えた全国9大学の一つである岡山大学は、様々な国内外連携による科学活動と実践人の育成を、**リデザイン**を経て最適化しながら、「社会のための科学」をさらに先導していきます。

地に足着いた、彩(いろどり)あるAcademiaの形成 —和顔愛語のリーダーシップ—

- ✓ 上記研究・教育・社会貢献の拠点事業での目標を、**リデザイン(さらなる最適化)**を通じて、確実に実行します。
- ✓ 都市圏・海岸・山間、医療・工業から農業に至る**多彩なフィールド**が近隣に存在する環境を活かし、足許から遠くまで**社会に存在する課題や疑問に応える**ことを共通の目標にして、学内が互いに力を高め、文理の壁を超え「**Meta(超越した)-Academia**」を形成し、教育・研究と抽出された課題解決の国際的な社会実装を進めます。社会人を含む**生涯学習の推進**と、六大学連携の強化をはじめ国内外のネットワークを強化し、日本の底上げに寄与します。
- ✓ 企画・経営・改革には**幅広い世代・分野の人材**を活用しながら、**和顔愛語(穏やかさと思いやり)**のリーダーシップを発揮し、若手人材には特に、将来に向けた広い視野と経験を持った人材が育つ場を作っていきます。

学内運営

「しなやかな」大学の運営
-IRで組織・プロジェクトの
リ・デザイン-

- 目標の着実な実行に向けて、
- ✓ IR (institutional research)により、組織内データを収集・提供・共有、学内外に改革を「見える化」し、リデザインで財務基盤を強化します
 - ✓ 各構成員の自律性を尊重したMBO-S (目標管理+セルフコントロール)で全学のベクトル合わせをしていきます

教育研究の柱

自律的な学修と研究の実質化
-Act and think
both locally and globally-

- ✓ 教育:人工知能時代に向けて人間側が持つべき能力をみすえ、学生が自ら学んでいく環境を推進します
- ✓ 研究:身近な地域から国際まで、社会に存在する課題疑問に応える科学の推進を、本学の特色である異分野融合の推進と、各学部・研究科の強みを見出し創出しながら、実現します

学外との密な連携

「超える」社会貢献
-社会との連携を通じて
新たな大学の価値を創造-

- 大学が立地する地域(岡山~日本~アジア)の資金的・文化的価値を高めます
- ✓ 産学官金(金融)言(言論)協働での拠点形成と、岡山大学メディカルセンター(OUMC)構想成長を継続します
 - ✓ 6大学ネットワークを発展させます
 - ✓ ミャンマーをはじめとしてアジア地域の発展を支援継続します